

学力向上プラン〔数学〕科

研究主題	「基礎学力の向上を目指した授業のユニバーサルデザイン化」	
副主題	～特別な教育的支援の視点をもった支援の工夫～	
仮説	各教科を中心に、通常学級に在籍する特別な支援を要する生徒を念頭におきながら支援することで、学習活動への意欲が高まり、基礎学力が定着するであろう。	
教科研究のUD化テーマ	言語活動や視覚教材を効果的に取り入れ、数学的活動の楽しさを実感することで、基礎基本の定着を図る。	
教科における方向性	教科で目指す子どもの姿 ○学んだ知識・技能を用いて、積極的に問題解決に取り組む姿。 ○数量や図形などの性質を論理的に考察し、数学的に表現する姿。 ○話し合い活動に主体的に取り組み、数学を生活や学習に生かそうとする姿。	
	焦点化 ・めあての明確化。 ・取り組むべき活動をはっきりさせる。	視覚化 ・つきたい力と授業の流れを明示し1単位時間の流れをつかませる。 ・映像や具体物を用いて、めあてをつかみやすくする。
	共有化 ・ペアや班活動で、思考を深めさせ、課題を共有して解決していく場の設定を工夫する。 ・確認テストで、「つきたい力」が身についたことを実感させる。 ・振り返りを行い、本時の学習内容の確認をする。	個別の配慮等 ・スモールステップを心がけ、課題に対して、どこでつまづいているのかを見極めて一つ一つ指導していく。 ・学習プリントを準備する。 ・ペア学習で学び合いを促す。
個人研究の方向性	個人研究テーマ ○生徒一人ひとりが積極的に学習に取り組む、課題提示の工夫	
	基礎学力の向上を目指した授業のユニバーサルデザイン化のための工夫 ○ペア学習を活用した、基礎・基本定着の時間の設定 ○学習プリントを用いた学習の構造化 ○デジタル教科書や具体物を用いたわかりやすい課題提示	